

子ども安全パトロール

地域で見守る子どもたちの安全

たてやま青空の会



提案の概要

会員を募って「子ども安全パトロール」の帽子を配布する（PTA、地域、老人会などに声かけ）。子どもの登下校の見守りだけでなく、買い物、散歩、犬の運動など出かけるとき、いつもかぶってもらおう。

子どもたちには、「子ども安全パトロール」の帽子をかぶっている人は、子どもたちの味方。困ったことがあった時、危ない思いをした時には頼ってよいと教える。

誰でも参加できる子どもの見守り

帽子をかぶるだけ…お金のかからない活動

シフトに縛られない自由な活動

誰でも、時間のある時、自由に活動

子どもたちを見守る様々な組織

交通安全指導員…通学路の交差点などで、子どもたちの安全指導や、見守りを行っている。

防犯協力会…様々な行事での防犯、歳末の防犯活動などを行っている。

子ども見守り隊…地域により、活動を継続しているところ、休止してしまったところなど様々である。

子ども110番…看板が風化し、すでに空き家となっている所もある

既存の組織との連携、現状の整理

交通安全指導員、防犯協力会などとの連携を図る。

子ども見守り隊の活動が継続している地域では、連携を図っていく。

すでに子ども見守り隊の活動が衰退している地域では、地域内での新たな組織づくりを行う。

交通安全指導員について

通学路の交通安全、特に学校近くの交差点で新学期と毎月の決まった日に交通安全指導を行っている。



子どもたちの家の近く、少人数になったところまで目が届かない。子どもが1人になったとき被害に遭うことが多い。

防犯協力会について

地区の行事や歳末など特定の日に活動



子どもたちの日常を見守る組織ではない。

子ども見守り隊について

「子ども見守り隊」の位置づけが地域によりまちまちで、スタッフの高齢化、引継ぎがされないなどの理由により、活動が低迷しているところもある。

活動が休止している所では



再び地域で子どもを見守る組織を立ち上げる

活動が継続している所では



連携を図りながら、子どもを見守る人を募っていく。

安心・安全を見守る地域づくりへ



子どもたちを見守りながら、地域住民と子どもたちの交流を図る。

お互いの安心安全を
見守る地域づくりを進める。

令和5年度市民協働事業 子どもパトロール 予算書

項目	予算 (円)
消耗品費	150,000
印刷製本費	40,000
通信運搬費	10,000
合計	200,000



安心安全なまちづくり
たてやま青空の会

ご清聴ありがとうございました